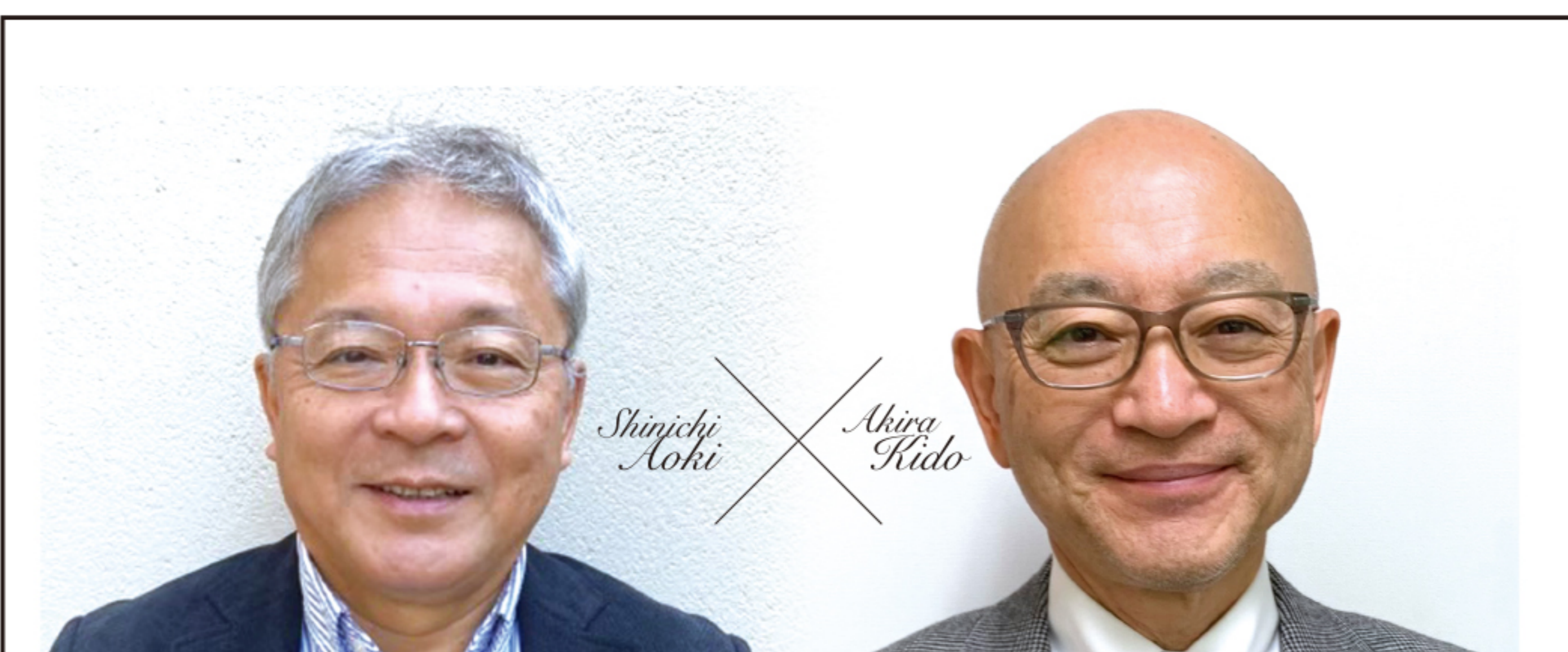


5 国からの交付金は生活困窮者に届くように！

虎の子の資金である国からの1億9,000万円、抽選方式のうれしーと、キャンペーンにほとんど使いました。この資金を使って、泉佐野市のようなPCR検査はできたでしょうし、急増する生活困窮者にも給付金として配布もできたでしょう。高石市が財政的に余裕はないからこそ、もっと使い道を検討していただきたかった。この議案には賛成できませんでしたから、せめて、全市民に買い物券3,000円を配布し、キャンペーンに参加したくてもできない市民にも支援が届く修正案を提出しましたが、結果は賛成4名(山敷、明石、松田、木戸)のみで議会に否決されました。したがって阪口市長にこの訴えは届きませんでした。



臨海部の石油流出の対応

大阪大学の青木伸一教授とのトークショー

開催日時 **12月12日** 開演予定...10:00
終了予定...12:00

開催場所 **パンセ羽衣** (羽衣公民館) 学習室+会議室
高石市羽衣1丁目11-22 TEL:072-265-3227

講演者 **大阪大学 大学院 教授 青木 伸一**
高石市東羽衣在住。大阪大学大学院工学研究科修了、豊橋技術科学大学教授を経て現職。専攻は、海岸工学、沿岸防災、沿岸環境。国土交通省海岸委員会委員。

進行役 **高石市議会議員 木戸 晃**
中央大学法学部法律学科卒、商社伊藤萬株式会社勤務を経て市議会議員に。特別養護老人ホーム及び小規模多機能型居宅介護施設 理事長を兼職。東日本大震災復興支援として企業とコラボしてコンテナハウスを寄付、現在も大船渡市でコミュニティーカフェとして運営中。

当日はマスク着用をお願いいたします。
またコロナ感染状況が悪化した場合は順延いたしますのでご了承ください。

以上で9月議会報告を終了します。
最後までお読みいただき、ありがとうございました。



連絡先 〒592-0003 高石市東羽衣1-16-19 木戸あきら事務所 072-261-7801 (TEL/FAX)

議会関係は、フェイスブックが一番使っています。ご覧下さい! 公式サイト [木戸あきら](http://kidoakira.com/) [検索](http://kidoakira.com/) <http://kidoakira.com/>



高石市議会議員 木戸あきら の議員報告 市民主役宣言!

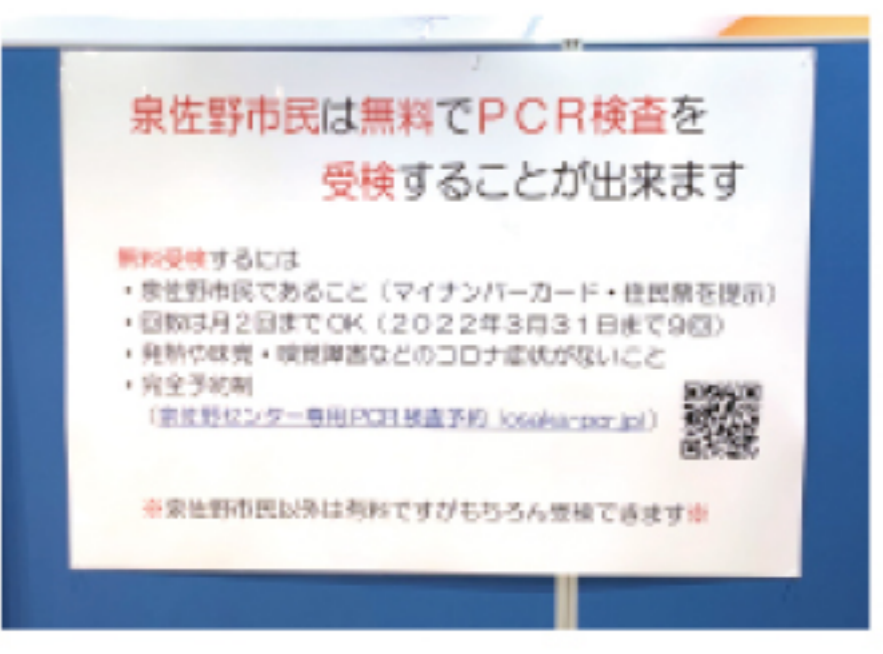
経歴 東羽衣小学校~中央大学法学部卒、商社勤務後現職、他に社会福祉法人理事長、大阪ベイエリアNATECH会員
議員歴 高石市議会議員(4期目)
会派 “市民の声” 所属 (木戸あきら・山敷めぐみ)

世間は久しぶりの外出ムード、しかし行政は危機管理を怠るべきではありません。国もワクチンの効果が薄れてきたので3回目の接種を決めました。市民主役宣言! 12月号では、高石市行政の感染予防の考え方が現れていた9月議会の報告をします。

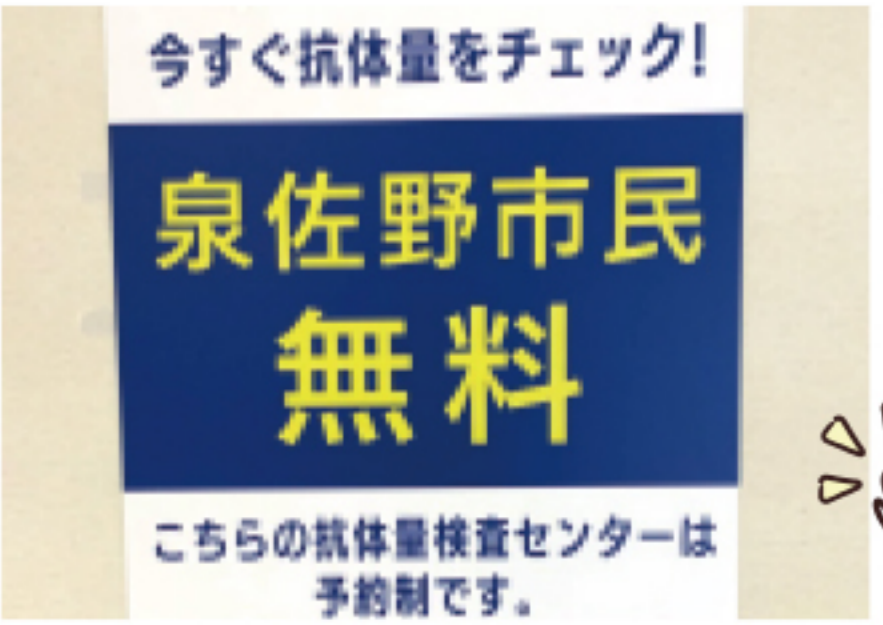
1 令和3年7月、泉佐野市は希望する泉佐野市民へ泉佐野市が費用を負担して"PCR検査"を実施開始しました。高石市は、せっかく診療センターを公立で持ちながら、泉佐野市のような無料PCR検査をしないが、その理由は? ...と質問しました。

保健福祉次長からの答え: 無症状感染者へのPCR検査は市民が自費でできる。
保険福祉部長からの答え: 大阪府の保健所と協議した結果、高石市では必要なし。
阪口市長からの答え: 保健医療センターには高齢者施設、病後児保育施設などあって感染するリスクがあるからPCR検査は行わない。

PCR検査センター泉佐野



泉佐野市抗体検査センター



泉佐野市民からの声を聞きました「変わりました、泉佐野市は！」

国も国民にPCR検査の陰性証明を求める時、無料でPCR検査してもらえる泉佐野市民と、自費でしかない高石市民、住む市によって市民サービスに差があることを痛感します。

私は介護施設事業者として公費により18回(R3.11.1時点)のPCR検査を受けさせていただいています、自費でならこれだけの回数の検査は続けられなかったと思います。検査前と今では安心感が違います。高石市民の皆様にも安心感を体験していただきたい。行政の再考を期待します。

(中面ページもご覧ください)

